白川地区に大学院大学が開校

旧白川中学校利活用事業者が決定しました！

平成31年に閉校となった旧白川中学校の利活用について、※大学院大学として活用を目指す「(仮称)学校法人地球共創学園準備委員会」が利活用事業者として選定され、山田市長が４月30日の定例記者会見で発表しました。今月号ではその概要についてお知らせします。

山田裕一市長　　西辻一真（にしつじかずま）代表

㊐学校管理課　☎22-1341

大学院大学開校に向けて

平成31年３月に閉校した旧白川中学校は、地域活性化および資源活用を図るため、文部科学省の「～未来につなごう～みんなの廃校プロジェクト」に登録し、活用用途を募集する廃校施設として令和元年から事業者の募集を行ってきました。そして、令和７年２月に「(仮称）学校法人地球共創学園準備委員会」から事業計画書の提出があり、３月24日に「白石市立小中学校閉校施設跡地利活用事業者選考委員会」を開催し、事業者からの提案およびプレゼンテーションに基づき慎重に審議を行い、旧白川中学校の利活用を行う事業者として選定しました。

定例記者会見で同準備委員会の西辻一真代表は、「私は京都で農業ベンチャーとして(株)マイファームを立ち上げ、全国各地で農業体験、農業学校を展開しています。その中で東日本大震災の復興支援に携わったご縁もあり、東北に農業・教育を中心にした学校をつくりたいという夢がありました。そこで、さまざまな施設を探し、旧白川中学校を視察させていただいたところ、地域の自然、特に蔵王の雄大さに感銘を受け、この素晴らしい自然をフィールドとして活用した学校をつくりたいと考えました。白石市から地球を考える、また、地域に貢献できる人材を輩出できるような大学院大学、新しい学校を官民連携でつくりたいと考えています」と述べ、開校に胸を膨らませていました。

山田市長は「旧白川中学校が大学院大学として活用されることは、地域の活性化などに貢献できるものと思います。本市としましても、大学院大学の開校に向けて事業者と連携し、より良い施設となるように取り組んでまいります」と期待に声を弾ませていました。

▲活用が予定される旧白川中学校

※大学院大学とは

学校教育法第103条に定められた「学部をもたず、大学院のみを設置する大学」のことです。大学卒業または大学卒業と同等の学力があると認められた方が入学でき、標準修業年限は修士課程が２年、博士課程が５年となります。

第39回しろいし蔵王高原マラソン大会

スポーツくじ WINNER toto BIG
スポーツ振興くじ助成事業

９月14日(日)開催・出場者募集中！

参加者に大会特製Ｔシャツをプレゼント！

㊐大会に関すること　しろいし蔵王高原マラソン大会実行委員会事務局（生涯学習課内）　☎22-1343

エントリーに関すること　エントリーセンター　☎048-778-5880（平日10:00～17:00）

驚異の高低差!!
全国屈指のアップダウン!!

●種目・参加対象

①３km：小学生男女・中学生女子・親子ペア
②５km：中学生男子・高校生男女・一般男女
③10km・20km：高校生男女・一般男女
④ジョギング（３km)：小学生以上
⑤ウォーキング（５km)：小学生以上

●参加料

小中学生	1,500円
高校生	2,000円
一般	4,500円
親子ペア	5,000円
ジョギング	3,000円
ウォーキング	3,000円

●申込方法

インターネットサイト「ランネット」から申し込みを受け付けています。次の二次元コードから申し込みください。

▲ランネット

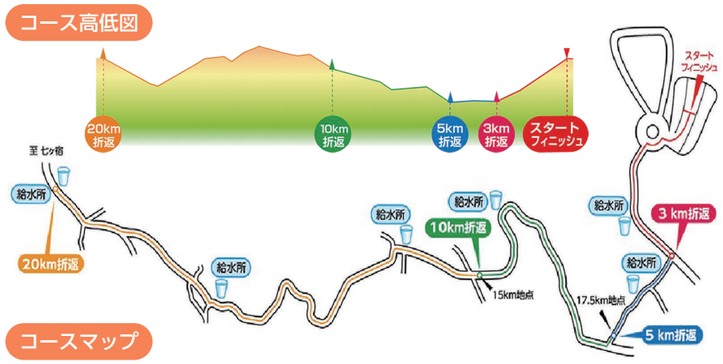
●申込期限

７月６日(日)

※大会当日は交通規制を実施します。詳しくは大会ホームページをご覧ください。

大会ホームページ▶

コース高低図



コースマップ